

外部講師を活用した事例（大王谷学園初等部）

○ 「いのちの授業」（1 学期終業の日、7 月 21 日）

外部講師 井上清美 様（延岡市の医師）

毎年行われている「いのちの授業」を本年度は、延岡市の医師である井上先生にお願いして、一人一人の命の大切さについて話をしていただいた。「みなさんの中には、死んでもまた生き返ると思っている人がいるかもしれませんが、人がもし死んでしまったら生きて帰ることは絶対ないんですよ。粗末にしないでほしいです。」と医者として亡くなった人に関わってきた経験をもとに「生きる」ということについて子どもたちに呼びかけてくださった。子どもたちにもその思いがしっかり伝わり、特に高学年の児童はしっかりと聞いていた。



○ 職員向け研修＜主題研修＞（8 月 3 日）

外部講師 大山由美 様（ビジネスマナーインストラクター）

本学園では、「あいさつ・返事、後始末」および「立腰」の指導に取り組んでいる。そこで、指導する私たち教員の資質の向上を目指してビジネスマナーを中心とした講座を開いた。大山先生には、第一印象の大切さから「どうすれば第一印象をよくしていけるか。」という課題を克服するために『身だしなみ』『あいさつ』『表情』『敬語』『態度』の 5 つの観点をもとにお話していただいた。特に『立腰』『礼の仕方』『笑顔のつくり方』に関しては、実際に実技指導していただき、どうすれば相手により印象を与えることができるかを体験することができた。

今回の研修を 2 学期以降の指導に生かしていきたい。

